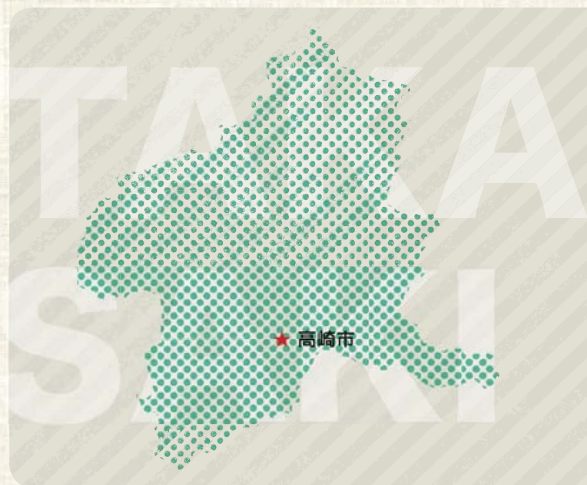


日本全国音楽のまち ～高崎編～

多くの地方自治体が地域おこし・まちづくりに取り組む中、まちづくりに「音楽」の要素を取り入れた地域にスポットを当てながら、地域と音楽を愛する人々、ユニークな施設や事例を紹介するシリーズ第2回。今回は、群馬県高崎市にフォーカスし、今日までの、そして新たな高崎発の音楽に関する取り組みを紹介する。



面積：459.16平方キロメートル

人口：375,407人（2015年7月31日時点）

高崎市は群馬県の西部に位置し、古くから交通の要所として商業が発達。

★高崎のこんな名物★

- **だるま** 高崎と言えば何と言ってもだるま。至るところで目にする事ができる。高崎のだるまの発祥とされる少林山達磨寺では、全国各地のだるまが展示されている。
- **パスタ** 群馬はその気候から、全国でも有数の小麦粉の産地。うどん消費量は香川に次いで2位などと、粉ものの食文化が発達している。なかでも高崎は、人口当たりのパスタ店が全国屈指であることからパスタのまちとしてPRを行っており、味と魅力を競い合うイベント等も実施されている。



多胡 邦夫

(作曲家・音楽プロデューサー)

対
談

富岡 賢治

(高崎市長)

10年、20年先の豊かな 音楽の果実を求めて

高崎市では、2013年度より「高崎サウンド創造活動」に取り組んでいる。同市は、その拠点となるレコーディングスタジオを新設、運営責任者を務める高崎市在住の作曲家・音楽プロデューサーの多胡邦夫氏の名前を冠し、「TAGO STUDIO TAKASAKI」として、2014年3月にオープンした。世界的にも珍しい、行政によるレコーディングスタジオはどのように生まれ、何を目指していくのか。同スタジオにて、高崎市の富岡賢治市長と多胡邦夫氏に、語り合っていた。